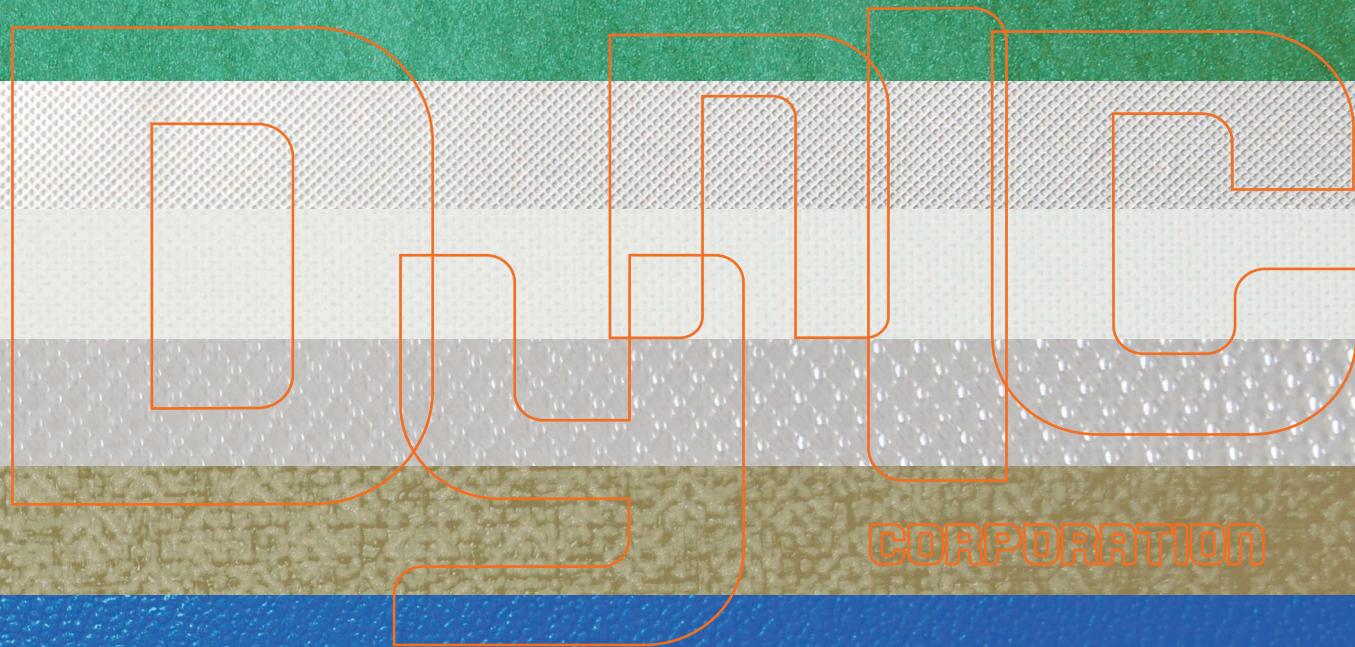


(証券コード 3551)



# 第 160 期報告書

2022年4月1日～2023年3月31日



技術の優位性  
人の和

経営の理念

経営の基本方針

“For The Customer”

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION	
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26	
東京本社	TEL 075-313-2111 FAX 075-313-2116 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル)	
創立	1919年8月18日	
資本金	57億9,565万円	
発行済株式総数	8,504千株	
社員数	グループ合計1,219名	
営業所/事業所 (グループ含む)	札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、 香港、シンガポール、米国、タイ、英国、 中国、インドネシア、チェコ	
工場 (グループ含む)	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、 米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ	
関連会社	国内7社、海外11社	
主要商品	●文具紙工品用クロス	●壁装材
	●出版用クロス	●カーペット
	●プリンターリボン	●自動車内装用資材
	●銀行通帳用クロス	●各種フィルター
	●フィルムコーティング製品	●不織布
	●磁気関連製品	●産業用ターポリン
	●表示ラベル用素材	●接着芯地
	●名刺プリンタ	●各種ファンシー商品
	●有機EL用水分除去シート	●食品包材
	●パップ剤用フィルム加工	●紙管紙器

役員 (2023年6月27日現在)

取締役会長	大石 義夫
代表取締役社長	山田 英伸
常務取締役	遠藤 浩
常務取締役	北村 圭正
常務取締役	佐々木 範明
取締役	高木 哲雄
取締役	中里 岳雄
取締役	新家 隆
取締役	坂本 啓
取締役	塚田 一範
取締役	川崎 茂
取締役	伊藤 祐子
常勤監査役	雨森 和彦
常勤監査役	山下 隆司
監査役	長谷川 啓一
監査役	奥谷 洋之

- (注) 1. 取締役のうち、川崎 茂、伊藤祐子の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役のうち、長谷川啓一、奥谷洋之の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第160期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第160期の売上高につきましては、全セグメントにおいて前年を上回りましたが、原材料・燃料価格の高騰の影響が大きく利益面につきましては全セグメントとも前年比減となり、連結ベースで別記のような結果となりました。

配当につきましては現状および来期以降の事業展開等を考慮して、一株当たり25円とさせていただきます。

第161期の当社グループを取り巻く環境は、引き続き原材料・燃料価格の高騰の影響等、厳しい状況が予想されますが、策定した「中期経営計画 SOLID FOUNDATION2026」に沿って販売の強化・採算の改善・開発の強化と非財務項目に取り組むことで、強靱な経営基盤を構築してまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2023年6月

代表取締役社長 山田英伸

## ●リネンラベル「CP2610HMES」 新たにカラー4色追加

接着の安定性が難しい防塵服への対応を可能にしたリネンラベルとして高い評価を得ているCP2610HMESに、2022年10月にブルー、イエロー、ピンク、グリーンの4色が追加され、従来品の白と合わせて5色展開になりました。

リネンサプライ業にてレンタル先をラベルの色で使い分けする際や、同じユニフォーム等でも容易に視認化できるようにする為にカラータイプが使用されます。



CP2610HMES (ブルー・イエロー・ピンク・グリーン)

## ●「100年大長編ドラえもん」に 当社製布クロス採用

ドラえもんの劇場版アニメ映画の原作17巻で構成された『100年大長編ドラえもん』が2022年12月1日(木)に小学館から予約販売されました。

背継ぎ表紙とケースには、当社製布クロス「ニューマイティカーフS ブラウン (特色)」が採用され、別冊の索引集と画集の表紙には当社製布クロス「SLC TK シルバー」が採用されました。



100年大長編ドラえもん

## ●印字用熱転写リボン塗料ラインを新設

埼玉工場に新設された印字用熱転写リボン塗料ラインの本格稼働に向けたスイッチオンセレモニーが2023年2月3日（金）に執り行われました。

塗料供給不足を解消する生産体制強化を狙いとした大型設備投資により、さらに効率の良い生産活動を図っています。



印字用熱転写リボン塗料ライン、スイッチオンセレモニー

## ●印刷情報関連事業の環境関連商品

自動販売機用トップボードなど屋外でも使用できる耐水性を備えたUV印刷用フィルムのOZKの環境対応タイプとして「ECOZK（エコザック）」を上市し、2023年2月にエコマークを取得しました。

印字用熱転写リボンでは、2022年4月にバイオマスマーク認定商品に登録された「BMC-1」の他、カーボンオフセット、減プラ対応の「SDG-1」や、エコマーク対応開発中の製品等、印刷情報関連事業では環境関連商品のラインナップの充実化を図っています。



印字用熱転写リボン

## ■経営の実績 当期の概況

当連結会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され、社会経済活動が正常化し、景気回復の兆しが見えてまいりました。

一方でウクライナ情勢による原材料および燃料価格の高騰、サプライチェーンの混乱、世界的なインフレや為替変動等、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、イベント需要の回復をはじめ経済活動の正常化が進む中で国内市況が改善し、海外市場も後半は調整局面となったものの、堅調に推移したことで、前期比で増収となりました。一方で利益面では、原油市場やナフサ価格は高止まりから若干の下落傾向にありますが、度重なる原材料および燃料価格高騰の影響を販売価格に反映し切れず、前期比で減益となりました。

その結果、売上高は41,553百万円（前期比6.7%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益755百万円（前期比47.7%減）、経常利益1,043百万円（前期比35.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は520百万円（前期比45.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

## ■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、紙クロスは展示会装飾用クロスを受注回復が大きく、前期比で増収となりました。ビニールクロスにおいては、手帳表紙紙の落ち込みに加えて、ファイルバインダー用途も期後半での受注減少により前期比で減収となりました。

また、産業用の品質表示用ラベルは、海外向けが堅調に推移し、国内では行動制限緩和によるマラソン向けゼッケン用途の回復や、リネンサプライ用途ラベルが好調で、前期比で増収となりました。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンには主に食品包材向けを中心に、特に海外向けが堅調で前期比で増収となりました。但し利益面では、フィルム、溶剤等の原材料価格が高騰し、前期比で減益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は19,173百万円（前期比7.9%増）、営業利益は1,261百万円（前期比11.6%減）となりました。

## ■住生活環境関連事業

不織布は、インテリアが好調な展示会需要で、前期比で増収、住宅用床吸音材も堅調に推移しました。車輦用天井・内装材は、自動車各社の生産回復に伴い、低調ながらも前期比で増収となりました。一方で、家電用フィルター類は、市況が回復せず苦戦しました。

不織布全体では前期比で増収となりました。

壁装材は、市況は低調ながら販売価格の見直しにより前期比で増収となりましたが、それを上回る原材料および燃料価格の高騰で大幅な減益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は13,294百万円（前期比6.9%増）、営業利益は原材料および燃料価格高騰の影響が大きく、84百万円（前期比80.0%減）となりました。

## ■包材関連事業

食品包材・蓋材は、海外ではコロナ禍での行動制限が緩和されたことによる消費の回復が大きく、国内では食品の在宅消費に加えて外食産業向けも動き出し、前期比で増収となりました。一方で、後半期は物価高の影響が徐々に出てきております。

利益面では、依然として原材料であるアルミ価格高騰と燃料価格高騰が大きく利益を圧迫し前期比で減益となりました。

医療用パップ剤用フィルム加工は海外向け受注が堅調に推移し、前期比で増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は7,189百万円（前期比5.8%増）、営業利益は242百万円（前期比45.8%減）となりました。

## ■その他

ファンシー商品は、主要顧客向けを中心に受注は回復傾向にあり、前期比で増収となりました。

また、商品運送・庫内整理は、受注減少により前期比で減収となりました。

その結果、売上高は3,289百万円（前期比1.1%増）、営業利益は88百万円（前期比6.4%減）となりました。

## ■対処すべき課題

次期の見通しにつきましては、わが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大が落ち着きを見せ、マスク着用などの行動制限が緩和され社会活動が正常化し、景気回復の兆しが見えてまいりました。

その一方で、ウクライナ情勢も依然予断を許さず、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループを取り巻く環境におきましても、原油価格は依然高い水準で推移し、原材料および燃料価格の高騰が収益に影響を及ぼすことが懸念されます。

このような状況下、「中期経営計画 SOLID FOUNDATION2026」を策定し、販売の強化・採算の改善・開発の強化と非財務項目に着実に取り組むことで、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

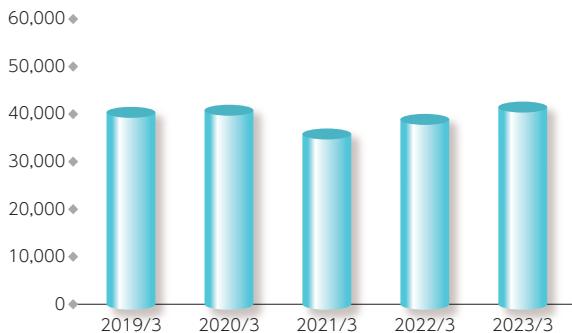
また、コーポレートガバナンスの強化に積極的に取り組み、企業の社会的責任を果たすとともに、内部統制の維持・向上、リスク管理体制の強化を継続的に進め、透明性の高い経営体制の下で、株主をはじめとするステークホルダーの皆様に対する経営責任と説明責任を果たしてまいります。

次期（2024年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高44,000百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円を見込んでおります。

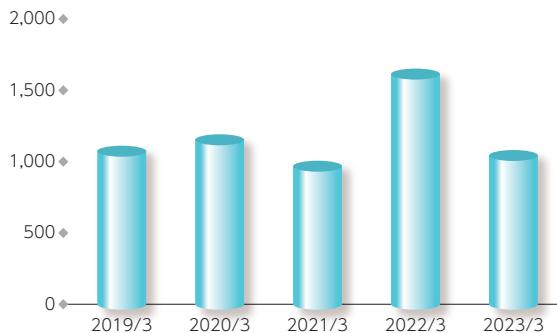
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 業績ハイライト (連結)

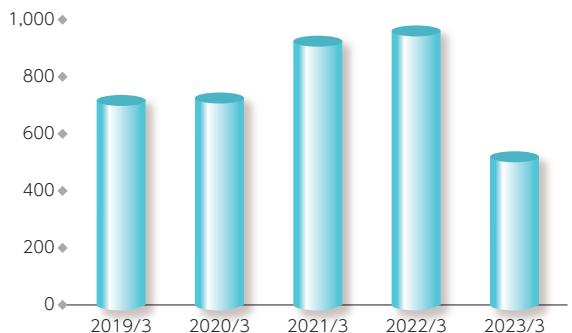
■売上高 (単位：百万円)



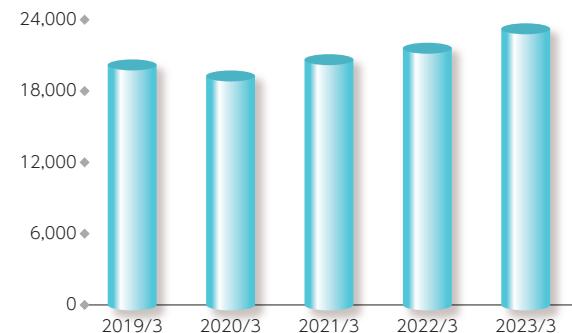
■経常利益 (単位：百万円)



■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



■純資産 (単位：百万円)



		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	(百万円)	40,426	40,866	35,865	38,946	41,553
営業利益	(百万円)	1,001	1,045	849	1,445	755
経常利益	(百万円)	1,073	1,153	968	1,614	1,043
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	717	726	925	961	520
売上高営業利益率	(%)	2.5	2.6	2.4	3.7	1.8
純資産	(百万円)	20,194	19,267	20,639	21,599	23,213

# 財務諸表の概要 (連結)

## 貸借対照表

(単位：百万円)

### ■資産の部

科目	前 期 2022年3月31日	当 期 2023年3月31日
<b>流動資産</b>	<b>24,584</b>	<b>26,532</b>
現金及び預金	3,986	4,065
受取手形、売掛金及び契約資産	7,768	7,842
電子記録債権	4,415	4,844
棚卸資産	7,824	9,279
その他の流動資産	610	513
貸倒引当金	△19	△11
<b>固定資産</b>	<b>29,601</b>	<b>31,096</b>
有形固定資産	20,016	20,116
建物及び構築物	5,283	5,130
機械装置及び運搬具	3,389	3,815
土地	10,242	10,286
その他の有形固定資産	1,102	885
無形固定資産	90	94
投資その他の資産	9,495	10,886
投資有価証券	5,282	6,534
退職給付に係る資産	730	949
繰延税金資産	227	250
その他の投資	3,275	3,174
貸倒引当金	△19	△21
<b>資産合計</b>	<b>54,185</b>	<b>57,628</b>

### ■負債の部

科目	前 期 2022年3月31日	当 期 2023年3月31日
<b>流動負債</b>	<b>23,216</b>	<b>23,821</b>
支払手形及び買掛金	7,809	8,213
短期借入金	13,163	13,589
未払法人税等	279	131
設備関係支払手形	367	404
その他の流動負債	1,598	1,484
<b>固定負債</b>	<b>9,370</b>	<b>10,594</b>
長期借入金	5,727	6,305
退職給付に係る負債	334	362
再評価に係る繰延税金負債	1,299	1,299
事業整理損失引当金	—	116
その他の固定負債	2,010	2,512
<b>負債合計</b>	<b>32,586</b>	<b>34,415</b>

### ■純資産の部

科目	前 期 2022年3月31日	当 期 2023年3月31日
<b>株主資本</b>	<b>16,784</b>	<b>17,022</b>
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	10,076	10,384
自己株式	△33	△103
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>4,487</b>	<b>5,888</b>
その他有価証券評価差額金	1,341	2,334
土地再評価差額金	2,799	2,799
為替換算調整勘定	156	502
退職給付に係る調整累計額	191	253
<b>非支配株主持分</b>	<b>328</b>	<b>303</b>
<b>純資産合計</b>	<b>21,599</b>	<b>23,213</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>54,185</b>	<b>57,628</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	前 期 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当 期 2022年4月1日～ 2023年3月31日
売上高	38,946	41,553
売上原価	31,545	34,360
売上総利益	7,401	7,193
販売費及び一般管理費	5,956	6,438
営業利益	1,445	755
営業外収益	597	700
営業外費用	428	412
経常利益	1,614	1,043
特別利益	373	105
特別損失	511	333
税金等調整前当期純利益	1,476	815
法人税、住民税及び事業税	387	338
法人税等調整額	176	1
当期純利益	913	476
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△48	△44
親会社株主に帰属する当期純利益	961	520

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前 期 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当 期 2022年4月1日～ 2023年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,339	575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,572	△438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262	440
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	94
現金及び現金同等物の増減額	603	671
現金及び現金同等物の期首残高	2,668	3,271
現金及び現金同等物の期末残高	3,271	3,942

## 自己資本当期純利益率 (単位：%)



## 会社の株式に関する事項 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 **30,000,000株**  
 発行済株式総数 **8,504,747株 (自己株式139,051株を含む)**  
 株主数 **3,230名**

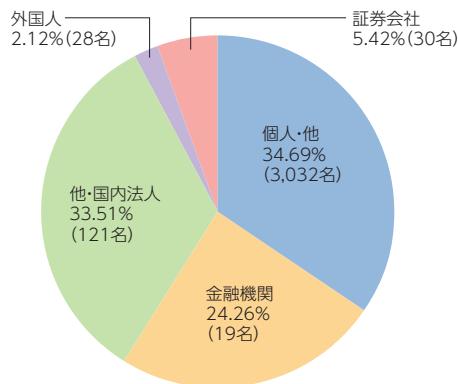
## 当社の大株主 (上位11名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	448	5.36
ニックグループ持株会	439	5.25
ダイニック従業員持株会	243	2.91
三井住友海上火災保険株式会社	242	2.89
株式会社ヤクルト本社	206	2.47
株式会社SBIネオトレード証券	205	2.45
株式会社三井住友銀行	200	2.39
みずほ信託銀行株式会社	200	2.39
住友不動産株式会社	197	2.35
株式会社滋賀銀行	192	2.29
株式会社武蔵野銀行	192	2.29

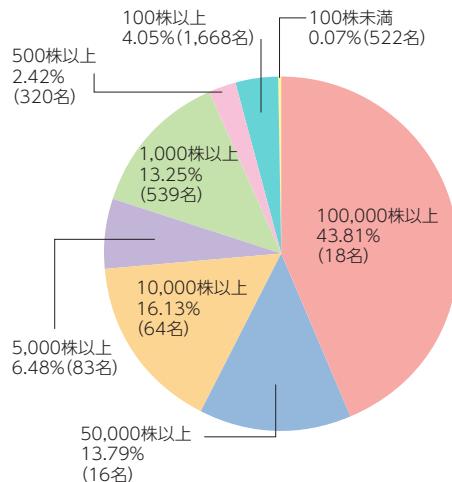
(注) 持株比率は自己株式 (139,051株) を控除して計算しております。

## 分布状況

### 所有者別



### 所有数別



## ダイニックグループ (2023年3月31日現在)

(国内)	(海外)
ダイニック株式会社	DYNIC SINGAPORE PTE.LTD.
ダイニック・ジュノ株式会社	DYNIC (HK) LTD.
大和紙工株式会社	DYNIC USA CORP.
ニックフレート株式会社	THAI STAFLEX CO., LTD.
ダイニックファクトリーサービス株式会社	DYNIC (UK) LTD.
オフィス・メディア株式会社	DYNIC (CZ) s.r.o.
大平産業株式会社	大連大尼克辦公設備有限公司
大野クロス株式会社	昆山司達福紡織有限公司
	達妮克國際貿易(上海)有限公司
	TPCNIC CO.,LTD.
	PT.DYNIC TEXTILE PRESTIGE

## 本社および事業所 (グループ含む)

東京本社	東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) 〒105-0004 TEL (03) 5402-1811
京都本社	京都市右京区西京極大門町26 〒615-0812 TEL (075) 313-2111
王子分室	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-9333
大阪支社営業所	大阪市中央区南船場2-5-12 (クリスタファイビル) 〒542-0081 TEL (06) 6262-3010
名古屋支社営業所	名古屋市東区葵1-26-14 (シノダビル) 〒461-0004 TEL (052) 979-2370
札幌営業所	札幌市白石区中央三条4-3-47 〒003-0013 TEL (011) 825-1344
福岡営業所	福岡市博多区東光2-20-22 〒812-0008 TEL (092) 451-9232
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字多賀270 〒522-0341 TEL (0749) 48-1717
埼玉工場	埼玉県深谷市内ヶ島500 〒366-0831 TEL (048) 572-3311
王子工場	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-0171
富士工場	静岡県富士市宇東川西町1-2 〒417-0854 TEL (0545) 52-3885
真岡工場	栃木県真岡市松山町16 〒321-4346 TEL (0285) 82-4121

## ダイニックホームページのご案内

当社の製品情報や I R 情報など、詳しい情報を掲載しております。是非ご覧ください。



## 単元未満株式の買取・買増制度のご案内

証券取引所 (金融商品取引所) で売買できない単元未満株式は、以下の方法で処分することができます。

### ●単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。



### ●単元未満株式の買増制度を利用

単元未満株式を当社から市場価格で買い増しして、単元株とする制度です。



単元未満株式の買取および買増にかかる当社の手数料は無料※です。ご利用をご検討ください。

※お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

本件に関してご不明な点がございましたら、お取引の証券会社、または下記の当社株主名簿管理人までお問い合わせください。

### 株主名簿管理人

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	3月31日	
定時株主総会	3月31日	
剰余金の配当	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）	
定時株主総会	6月下旬	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社	
	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受 取り方法の変更およびマ イナンバーのお届出など のお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 
未払配当金、その他当社 株式関係書類についてのお 問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ させていただきます。	ホームページ： <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供 制度(書面交付請求)につい てのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ 信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増 以外の株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に口 座を開設し、株式の口座振替手続を行って いただく必要があります。
株式等に関するマイナン バーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーの お届出をお願いします。	
上場証券取引所	東京	
証券コード	3551	
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.dynic.co.jp">https://www.dynic.co.jp</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない 場合には、日本経済新聞に掲載して行います。	



〒105-0004  
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)  
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146

この報告書の表紙は当社製品「レーヌカバー」を使用しています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。